経営者 遠州 KATAROGU 型録

# 「電卓並みのNC」を作りたいという夢を掲げ、対話式のPC用ソフトをマシンに搭載して展開！業界初を実現！

代表取締役社長
梁崎由喜夫さん
Yukio Yanasaki
弥栄鉄工株式会社
浜松市中央区金折町147
053-426-1216
https://www.yasaka-co.jp


## ものづくり浜松を支えてきた木工機械メーカーとして、確固たる地位を構築

弥栄鉄工は住宅関連に関わる木工機械を開発・製造販売している会社です。浜松商工会議所が発行した遠州機械金属発展史の書物の中でも弥栄鉄工の活躍が紹介される等、ものづくり浜松を支えてきた企業として歴史と実績を誇っています。創業当初よりアッセンブリーに特化する戦略等によって着実に成長し、木工機械の業界で独自の地位を築き、昨年は創業60周年の節目を迎えました。

創業者の久保田進吾氏は、「電卓並みのNCを作りたい」という理念を掲げ、3代目の梁崎由喜夫代表取締役社長がその思いを受け継ぎ、当時は組み立て図面が読める職人でしか扱えなかった機械を、知識のないパートでもオペレーティングができる画期的なパソコンNCボーリングを生み出しました。

「木材は切削しやすいですが、金属とは異なり、反ったり、曲がったり、縮んだりする自然素材のため、木工加工ならではの固有の困難さが多々あります。弥栄鉄工の特異な点は、大きく2つあり、ひとつはアッセンブリメーカーであるということ。機械メーカーは、自社で部品の加工から生産するのが一般的ですが、当社は組み立てだけを行うアッセンブリメーカーとして、協力業者に作らせる技術を高めてきました。もうひとつは、

熟練した職人を機械に置き換えるのだから、誰もが簡単にNCマシンを操作できなければ価値がないという開発思想を持っているという点です。高度な生産や仕組みをより簡単にするために、対話式のパソコン用ソフトをマシンに搭載して展開したのは弥栄鉄工が業界初と自負しています」と語るのは、梁崎代表取締役社長。

人からロボットへが当たり前となる未来において、弥栄鉄工は、ロボットのティーチングはもとより、さらに進化させた次のステップに向けて試行錯誤をしている段階だともお話してくださいました。

「私の仕事は市場のニーズに応えるためのアイデアを模索したり、従業員のより良い開発環境を与えるのが仕事だと」言い切る梁崎社長。展示会に出展して弥栄鉄工の製品をアピールしたり、IT等のさまざまな展示会に出向いて情報をキャッチしたりと全国を飛び回っています。そして、常に新しい挑戦と成長を追い求めていく弥栄鉄工は、木工を扱う製造現場に新風を吹き込むリーディングカンパニーとして評価され、確固たる地位を築いています。

空調設備が整えられた快適でクリーンな工場

PNCボーリングマシン「ZX」 高生産性と安全性能を搭載し、さらにコストダウンの徹底追求により圧倒的なコストパフォーマンスを提供する複合ボーリングマシン。

# 紙雑貨のお店、Papel（パペル） en（エン） sol（ソル）を出店する等 紙の持つ無限の可能性を引き出す企業として 独自性を高めています

代表取締役社長
**加藤哲也さん**
Tetsuya Kato

**遠州紙商事株式会社**
浜松市中央区笠井新田町891
053-433-8004
https://www.enkami.co.jp/

## 印刷用紙をはじめ、紙袋や包装紙等 西部地区の紙流通を支えています

遠州紙商事は、技術力に長けた断裁加工を軸に、印刷用紙・パッケージ包装資材、また介護用品等の化成品の卸業を行っている会社です。取引の約8割が印刷会社に生紙を、2割弱を地元菓子メーカー等に紙袋や包装紙をお届けしています。また、コロナ禍ではトイレのエアーハンドドライが使用されなかったため、ペーパータオルの需要が増えたとのことでした。現在、県西部地区には遠州紙商事と同業の紙卸商は、淘汰によりわずか4社。私たちの暮らしに欠かせない紙製品のプロフェショナルとして地域の紙流通を支えています。

「遠州紙商事は、もともと紙を製造していた遠州製紙から紙を販売する事業として分かれた企業です。1976年に父が創業し、2019年12月に私が代表取締役に就任しました。まさにコロナの感染患者が中国・武漢市で確認された時期であり、経営者としては苦難のスタートとなりましたが、これも自分に課せられた使命と捉えて立ち向かい、お陰様で昨年から業績も回復基調となりました。私たちの商売はエリア商売ですので、地域が活性化し、経済的に潤うことが私たちの発展に直結します。世界企業が地元にあるというのも本当にありがたいことです」と語るのは、加藤哲也代表取締役社長。

SDGsの観点からペーパーレス化が進んでいますが、紙は約60%が古紙を再利用しており、残り40%は木材を使用していますが植林によるため環境破壊ではありません。荒れた地に新しい木を植えることでパルプとなるチップが生産されています。二酸化炭素を吸い酸素を供給してくれる植林事業は地球温暖化の防止に貢献しているのです。こうした正しい情報をもっと提供することも紙を扱う企業としての使命であると、加藤社長は語ってくださいました。

また、遠州紙商事では紙のもつ無限の可能性と紙の魅力を発信するお店、「papel en sol（パペル　エン　ソル）」を展開。一風変わった紙雑貨を販売しています。併設された紙のショールームは、紙の見本帳をはじめ眺めるだけでもうっとりする美しい紙が多彩に並んでいます。遠州紙商事は紙の持つ無限の可能性を引き出す会社として独自性を高めています。

浜松市中央区東三方町211-19
TEL: 053-488-7557
【営業時間】10:00～19:00（木曜定休）
玩具や文具、紙でできたバッグ等一風変わった製品を取り揃えています。また、パーティ等で使用される陶器のような食器は、和紙のような優しい質感と繊細さが好評。

募集中

このコーナーで紹介させて頂く会員事業所を募集しています。
ご都合に合わせて取材させていただきます。尚、掲載無料です。

浜松東法人会　TEL.053-453-4549　FAX.053-457-3729
info@hamamatsueasthojinkai.or.jp